



市立

野洲病院

■ 2026年度版 ■

診療案内





病院長 前川 聡

平素は、地域の診療所の先生方をはじめ関係機関の皆様さまには、格別のご指導ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院は、市立野洲病院として歩みを進め、今年度で丸8年を迎えました。この間、新病院の整備に際しましては多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。おかげをもちまして、いよいよ来年、令和9年3月1日の「市立野洲地域医療センター」開院に向けた準備も最終段階に入っております。

新病院への移転は、単なる建物の更新ではありません。後方支援のさらなる充実や最新設備の導入、そして医師・医療スタッフの確実な増強により、診療機能を抜本的に強化してまいります。地域の先生方からより一層信頼され、安心して患者さまを託していただける「地域医療の中核」となるべく、職員一同、心を一つに邁進する所存です。

新たな門出を控え、地域の皆さまと共に歩む病院であり続けるため、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

役職名	氏名	役職名	氏名
病院事業管理者長	前川 聡	脳神経内科部長 医療診療部長	布留川 郁
病院長特別補佐	森 幹士	循環器内科部長 感染管理室長	前田 行治
副院長 消化器内科部長 総合内科部長 患者サポートセンター長	内原 啓次	外科部長	丹後 泰久
副院長 医療安全管理部長 医療技術部長 健康管理センター長	寺地 敏郎	麻酔科部長	早藤 昌樹
副院長 看護部	小森 久美子	腎臓・人工透析内科部長 透析センター長	出路 奈緒子
事務部長 患者サポートセンター副センター長	駒井 文昭	糖尿病内分泌内科副部長	川原 良介
		リハビリテーション科副部長 整形外科副部長	入山 圭司
		看護部副部長 看護室長	北尾 知恵子
		事務部副部長 医局支援課長	今井 啓介

連携医療機関等リスト

[連携協定医療機関(高度急性期病院)]

滋賀県立総合病院 / 済生会滋賀県病院

[介護施設等_協力医療機関]

あやのの里、ぎおうの里、悠紀の里、野洲しのはらすみれ園、寿々はうす、野洲すみれ苑、野洲すみれホーム、守山すみれ苑、あいむ祇王、エルプラス祇王、ほほえみ、まんてん

(順不同)

外来診察・来院検査のご紹介方法

- ◎ 外来診察・来院検査のご紹介(申し込みの流れ)

① FAX申し込み

5ページの「診察・検査依頼書(FAX送信票)」にご記入いただき、患者サポートセンターにFAX送信してください。

FAX:077-587-4437

② 予約票返信

予約日時を決定し、『予約票』をFAXにて返送いたします。

③ 患者さんのご来院

患者さんへ、当院の予約票と貴院が作成された「診療情報提供書(検査データ)」をお渡しいただき、「健康保険証(マイナカード)」「お薬手帳」ご持参のうえ、診察(検査)当日に、「紹介窓口」までお越しいただきますよう、お伝えください。

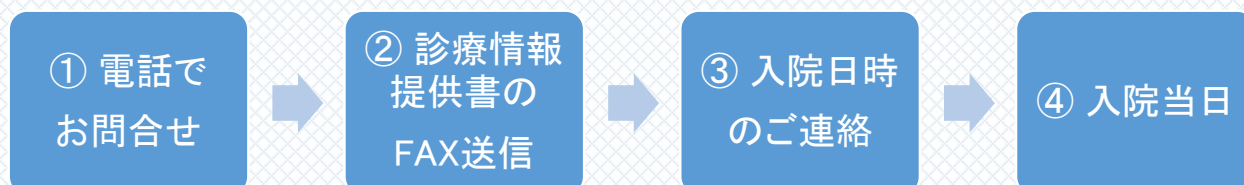
④ 返書(診療情報提供書)送付

受診の状況につきましては、患者サポートセンターより「報告書(来院)」をFAXにて、診察・検査後の結果等の担当医師から返書(診療情報提供書)を郵送にて送付させていただきます。

「診察・検査依頼書(FAX送信票)」は、当院ホームページ「医療機関の方、介護保険施設の方」
<https://www.yasu-hp.jp/iryoukikain/>よりダウンロード可能です。

入院のご紹介方法

◎ 入院のご紹介の流れ



- ① 主訴やバイタル、入院希望日等を、患者サポートセンターにお電話ください。
TEL:077-587-4432
- ② 患者の病状確認のため、「診療情報提供書」を患者サポートセンターにFAX送信してください。
FAX:077-587-4437
- ③ 当院担当医に確認し、電話にてお返事いたします。
- ④ 患者さんへ、当院の予約票と貴院が作成された「診療情報提供書(検査データ)」をお渡しいただき、「健康保険証(マイナカード)」「お薬手帳」ご持参のうえ、診察(検査)当日に、「紹介窓口」までお越しいただきますよう、お伝えください。

お問合せ先について

◎ 外来診察・来院検査・入院 ご紹介

当院への各種ご予約・お問い合わせは、「患者サポートセンター」ですべて承っております。
土日・休日、夜間につきましては、急患のみとさせていただきますのでご容赦ください。

◆◆ 患者サポートセンター 専用ダイヤル ◆◆

077-587-4432

◆◆ 診察・入院紹介、検査オーダー専用FAX ◆◆

077-587-4437

※ 土日・休日及び夜間の救急は …… 077-587-1332〔病院事務当直〕

3T MRIを用いた画像検査のご案内

当院には、3テスラの高性能MRI(Siemens MAGNETOM Lumina)を設置しています。画像の鮮明さはもちろん、広いオープンボアと静かで速やかな撮影により、患者さんの負担を最小限に抑えることができます。

貴院からのご予約後、通常1週間以内に検査を受けていただけます。結果につきましては、画像診断医の所見とともに、検査当日にお返しするよう努めています。



3T Siemens MAGNETOM Lumina

主な設備のご案内



CT装置

80列マルチスライスCTで、診断精度の高い検査が可能です。頭部から胸部疾患及び腹部臓器(肝・胆・膵・腎等)疾患にいたるまで、全身の検査が可能です。



骨密度測定器 (DEXA法)

骨密度はある年齢をピークに年齢とともに減少していくのが一般的です。骨密度の減少による骨粗しょう症の予防や経過観察のための検査です。



マンモグラフィー

乳がんは、早期発見と早期治療が大切な病気です。マンモグラフィーは乳がんの特徴的な微小な石灰化の発見に有効的な検査です。

患者サポートセンターを通じて予約可能な検査一覧

			月	火	水	木	金
画像診断	CT_単純	午前	○	○	○	○	○
		午後	—			—	
	CT_造影	午前	○	○	○	○	○
		午後	—			—	
	MRI_単純	午前	○	○	○	○	○
		午後	—			—	
MRI_造影	午前	○	○	○	○	○	
	午後	—			—		
内視鏡	胃透視_経口	午前	○	△ (2.4週:○)	○	○	○
	胃透視_経鼻	午前					
	大腸カメラ	午前	○	○	○	○	○
生理検査	腹部超音波	午前・午後	○	○	○	○	○
	心臓超音波	午前・午後	○	○	○	○	○
	頸動脈超音波	午前・午後	○	○	○	○	○
	下肢動脈超音波	午前・午後	○	○	○	○	○
	深部下肢静脈超音波	午前・午後	○	○	○	○	○
	CAVI/ABI	午前・午後	○	○	○	○	○
	トレッドミル負荷心電図 (15歳以上)	午後	—	—	—	○	—
	尿素呼気試験	午前・午後	○	○	○	○	○

「在宅療養支援入院」のご案内

TEL:077-587-4432

市立野洲病院では、在宅で療養されている方の状態改善や、介護されている人の負担軽減のため、「在宅支援入院」を実施しています。

利用を希望される方は、かかりつけの医師やケアマネジャー、または直接野洲病院(患者サポートセンター)までお気軽にご相談下さい。

『在宅支援入院』って??

次のようなときに、公的医療保険の適用を受けて約2週間をメドに入院する制度です。



介護疲れのため、ひと休みしたい

- 急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設病棟



介護者の方の病気や入院で介護ができない

- 急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設病棟



医療的な処置(胃ろうや気管切開等)があって介護施設でのショートステイが利用困難な方

- 急性期一般病棟



体力が低下し、動作が遅くなってきたので、リハビリがしたい

- 地域包括ケア病棟、障害者施設病棟

※検査・リハビリ等については医師の判断で簡易的になる場合があります。

「入院サポートカー」のご案内

TEL:077-587-4432
FAX:077-587-4437

[利用方法]

- ① 市立野洲病院(患者サポート課(Tel:077-587-4432))にまずは連絡して下さい。
- ② 診療情報提供書(検査結果等含む)と診療依頼書(FAX送信票)を市立野洲病院(患者サポート課(FAX:077-587-4437))に送信下さい。
- ③ 市立野洲病院(患者サポート課)から紹介元保険医療機関に連絡、時間調整します。
* ②.③は、地域の先生からのご紹介の場合です。

◆お問合せ先 Tel:077-587-4432

◆利用時間:平日の9時から17時

◆利用エリア:野洲市・近隣地域

入院サポートカー (在宅医療支援)

ご自宅・診療所・介護施設まで、

入院見込みの患者さんを迎えに行きます!!

- 救急車を手配する必要までないが、早めの受診が必要と思われる方
- 当院までの移動手段がない方(親族が遠方であるなど)
- 入院加療(レスパイト含む)の予定または見込まれる方

※利用時間:平日の9時~17時

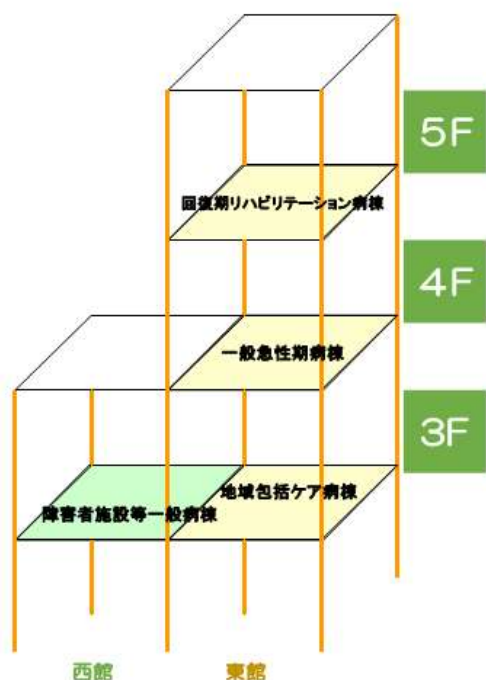
遠慮なくご連絡ください

[救急車タイプ]

*緊急走行はしません。

[軽自動車タイプ]

各病棟のご案内



5F

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患・大腿骨頸部骨折などの患者さんを対象に、「寝たきりの防止」と「在宅復帰」を目的とした集中的なリハビリテーションを行っています。

当院の回復期リハビリテーション病棟は、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー等の多職種が連携し、退院後の生活の安心に向け、患者さんの支援に取り組んでいます。

[特徴]

- チームアプローチの実践
- 患者家族参加型看護の実践
- 365日、年中無休でリハビリテーションを提供
- 退院前訪問指導・退院前カンファレンスを積極的に実施

4F

一般急性期病棟

内科系・外科系の混合病棟です。緊急入院や高度急性期治療を経て急性期治療が継続的に必要な患者さん、当院での術前・術後の患者さんを対象に、密度の高い医療・看護を提供しています。看護配置は10:1です。

3F

地域包括ケア病棟

急性期治療を経過して在宅復帰をめざす患者さん、在宅療養中に軽症急性期に至った患者さんを対象に、医療・看護・リハビリテーションなどを提供する病棟です。

[特徴]

- 入院期間は、60日以内が原則となります。
- 入院費は定額で、リハビリテーション・投薬料(一部除外)・注射料・処置料・検査料・入院基本料・画像診断料等のほとんどの費用が包括されています。

西3F

長期一般病棟(障害者施設等病棟)

肢体不自由(上肢・体幹・下肢)の患者、意識障害や神経難病などの患者を主な対象に、医療、看護、リハビリテーションなどのトータルケアを一定長期間行う病棟です。人工透析のための入院も可能です。

[特徴]

- 状態の安定した患者の長期のレスパイト入院もお受けしています(市民療養枠)。
- サブ・アキュートの患者さんの一定長期のリハビリ入院も受け入れております。

専門科の治療とCommon diseaseへの対応



■入院に対応できる7つの専門科

- 糖尿病内分泌内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 脳神経内科
- 整形外科
- 泌尿器科
- リハビリテーション科



■入院適用可能な主なコモン・ディジーズ

- 誤嚥性肺炎
- 肺炎
- 圧迫骨折
- 尿路感染症 (他の内科的合併症を伴わない尿路感染症)
- 心不全(軽症)
- 脳梗塞後遺症
- 脱水症・摂食不良

総合内科のご案内



副院長・部長：内原 啓次

外来において、総合内科を2023年10月から開始しました。初診の症状は、臓器を同定できない発熱や倦怠感、食欲不振も多く、それらに対応するために、総合内科外来を開設しました。また、専門外来(臓器別外来)は、非常勤医師が、曜日限定で、外来をしている診療科も多く、専門外来が無い曜日の場合、その診療科の対応も総合内科が行っています。身近な病院としてご利用ください。

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

発熱や倦怠感、食欲不振や不定愁訴等の臓器の特定できない内科的な症状で、各種検査が必要な疾患に対応が可能です。当院では、即日血液検査ができ、CTやMRI等もすぐに検査ができますので、早期の診断・治療ができます。

また、不定愁訴に対する漢方治療は(木)(金)で行っています。

・治療の特徴

当院ではCTやMRI等、すぐに検査ができるのに加え、必要があれば、入院治療ができます。高齢者社会において、経過観察を含めて入院治療を要する場合も多いと思いますので、貴院のBack upとしてご利用ください。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	川原	松村	—	土井	山地
				(内原)	(内原)

糖尿病内分泌内科のご案内



副部長:川原 良介

●当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

- ・糖尿病(1型・2型・膵性を始めとする、その他の糖尿病)
- ・肥満症
- ・脂質異常症
- ・甲状腺疾患(バセドウ病、慢性甲状腺炎、甲状腺腫瘍)
- ・内分泌性高血圧症 など

・治療の特徴

〈糖尿病〉

- ・糖尿病患者さんご家族にとって、持続可能な治療方法を提案します。
- ・初めて糖尿病を指摘された方、血糖管理が困難な方、合併症が生じてしまった方に対してなど教育入院を行います。
- ・当院眼科の網膜症精査に加え、他科とも協力し、糖尿病の合併症精査を行います。
- ・持続血糖測定(CGM)やインスリンポンプ、週1回のインスリン製剤、GLP-1製剤などを用いた最新の糖尿病治療を行います。
- ・定期的に糖尿病教室を実施し、院内外での正しい糖尿病の知識の普及に努めます。

〈肥満症〉

- ・栄養士など多職種との連携の上、治療を行います。
- ・当院は、肥満症治療薬であるGLP-1受容体作動薬(ウゴービ®)、GIP/GLP-1受容体作動薬(ゼップバウンド®)を用いた治療が可能です。

〈脂質異常症〉

- ・現在の動脈硬化の状態を頸動脈エコー、ABI/CAVIなどで評価した上で、食事療法や薬物(内服、注射剤)治療を行います。

〈甲状腺疾患〉

- ・採血やエコーで甲状腺の機能、病態を評価し、治療を行います。
- ・精査・治療が必要と考えられる甲状腺腫瘍については他院に紹介させていただきます。

〈内分泌疾患のスクリーニング〉

- ・副腎性高血圧症などのスクリーニングを行います。

●外来担当

	月	火	水	木	金
午前	深見	山地	川原	坂田	前川

消化器内科のご案内



副院長・部長：内原 啓次

当院での消化器内科の歴史は旧く、滋賀医大消化器内科から派遣にて1980年代から診療を行っています。

胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査は、多数行っており、一般消化器内科の対応が可能です。内視鏡的大腸ポリープ切除も対応可能です。なおこしばらく、常勤の外科医が不在でしたが、今年度、消化器外科医が常勤で赴任されたので、外科との連携が必要な胆道疾患等にも対応できるようになっております。ただ、緊急度の高い場合は、以前の通り、滋賀県立総合病院・済生会滋賀県病院と連携することで対応しています。初期治療として、消化器疾患の対応は十分可能ですので、まず、ご相談ください。

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

腹痛、嘔吐、下痢・便秘等の消化器症状があれば、当院ではCTやMRCP等、すぐに検査ができますので、ご紹介ください。内視鏡検査も予約を承っています。身近な病院としてご利用ください。

・治療の特徴

2025年度は、上部消化管内視鏡件数 2,146件、
下部消化管内視鏡検査 411件、
下部内視鏡治療154件と内視鏡検査、大腸ポリープに対する治療を行っています。ただ、現在、ESD症例はマンパワーの関係で高次機能病院を紹介させてもらっています。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	塩谷	大野	山下	塩谷	松村
				(土井)	(内原)

循環器内科のご案内



部長: 前田 行治

◎当科へのご紹介のお願い

- ・ (外来) 紹介対象疾患
 - ・ 緊急性のない循環器疾患
 - ・ 心エコー・下肢動静脈エコーなど非侵襲的検査目的
 - ・ コントロールの難しい高血圧症
 - ・ 心不全患者のコントロール状態の確認

・ 治療の特徴

外来担当医は、滋賀医科大学循環器内科または滋賀県立総合病院循環器内科の灘濱医師が担当しています。心エコー・動静脈エコーとホルター心電図、トレッドミル運動負荷での外来検査を行っています。当院ではカテーテル検査などは出来ませんので、他院への紹介・精査が必要となることもあります。

入院の必要な患者様は、前田が対応させていただきます。実際には、高齢者の心不全コントロールを目的とした検査加療を入院で行っています。人工呼吸器管理などCCUでの集中治療の対象ではない範囲で、カテーテル検査などの侵襲的検査は適応のない患者さんをご紹介いただければ幸いです。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	林	大西	灘濱 (1.3.5週)	植村	灘濱

腎臓内科・人工透析センターのご案内



部長・センター長：出路 奈緒子

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

- ①慢性腎臓病経過中の急性増悪、急性疾患の合併、終末期の食欲不振時など入院治療が望ましい病態。
- ②維持透析患者の通院困難、サービス調整必要時の入院

・治療の特徴

- ①高齢などの理由で、透析非導入を決めておられる患者さんに、希望に合わせた治療を選択し、提供します。その結果、看取り治療となった場合、終末期の苦痛緩和に努め、最期まで入院治療を提供します。希望があれば在宅診療の手配をし、在宅看取りにつなげます。
- ②維持透析通院中、骨折などを発症し、リハビリテーションが必要となった場合や、年齢を重ねADL低下が進行し通院困難となった場合に入院で維持透析を継続しながら、リハビリテーションやサービス調整を行います。

◎外来担当(腎臓内科)

	月	火	水	木	金
午後 (予約制)	—	—	—	清水	—

◎担当医(人工透析センター)

	月	火	水	木	金	土
午前	出路	出路	出路 安藤	出路 清水	出路	東
午後	出路	出路	出路 安藤	出路 清水	出路	東

脳神経内科のご案内



部長: 布留川 郁

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

- ・脳梗塞や一過性の虚血発作等の脳血管障害
- ・パーキンソン病/脊髄小脳変性症/筋萎縮性側索硬化症等の神経変性疾患
- ・アルツハイマー型認知症等の認知症
- ・てんかん
- ・頭痛/三叉神経痛
- ・しびれ（手根管症候群・変形性頸椎症等）
- ・上記以外（髄膜炎/脳炎・ギラン・バレー症候群・重症筋無力症・多発性硬化症・筋ジストロフィー症等）も診療可能ですが、必要に応じて、専門医・高次医療機関に紹介等をさせていただきます。

・治療の特徴

当院でも、ある程度までは急性期疾患の診療は可能ですが、マンパワーの問題から診療には限界があるため、必要に応じて、滋賀医科大学医学部附属病院等に転院していただきます。

外来診療についても同様で、当院では、施行できない核医学検査（DAT scan・脳血流SPECT・PET）等が必要になれば、滋賀医科大学医学部附属病院・滋賀県立総合病院・済生会滋賀県病院を検査のために受診していただくこととなります。

特に、最近になって可能になったアルツハイマー型認知症の新しい治療（抗アミロイドβ抗体薬による治療）は、当院では、施行できないため、滋賀県立総合病院等に紹介させていただくこととなります。

確定診断の難しい神経難病・その他の疾患についても、必要に応じて、滋賀医科大学医学部附属病院等に転院して、精検を受けていただくこととなります。

布留川は、肢体不自由・平衡昨日障害・音声機能/言語機能障害・そしゃく機能障害の身体障害者診断書・意見書の作成可能で、神経内科での難病指定医なので特定疾病の臨床調査個人票の作成が可能です。

また、自立支援医療（精神通院医療）の診断書や成年後見人制度用の診断書の作成も可能です。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	—	布留川	週別 担当医	布留川	—

整形外科のご案内



病院長特別補佐: 森 幹士

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

脊椎疾患、変形性股関節症、その他股関節疾患、手の外科、手の骨折、橈骨遠位端骨折など、手関節の骨折、その他骨折など

・治療の特徴

現在、当院整形外科では、滋賀医科大学と連携し、当院内に共同研究講座として脊椎・関節機能再建学講座から、脊椎外科医、股関節外科医の医師が勤務しており（下記）、各疾患に関わる手術療法も含めた治療にて、野洲地域の医療に貢献できればと考えております。また、手の外科に関わる医師も勤務しておりますので、ご紹介いただければと思います。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	木内	緒方	一般整形、 手・骨軟部腫瘍 竹村	緒方	齋藤
	安藤 (1.3.5週)				
	熊谷 (2.4週)				
専門外来 予約制	骨粗鬆症 (10:00~ 11:30) 三村		股関節 (9:00~ 10:30) 三村	脊椎 (9:00~ 11:30) 森	骨粗鬆症 (13:30~ 15:30) 入山 (2.4週)
					手・骨軟部腫瘍 (14:00~ 15:30) 竹村 (1.3.5週)

脊椎専門外来を開設しています。

[担当医]

※毎週木曜日
(9時～11時30分)



病院長特別補佐
(滋賀医科大学 特任教授)

森 幹士 医師

滋賀医科大学 整形外科
脊椎チーム(15年以上)

平成7(1995)年に滋賀医科大学を卒業し、脊椎外科を専門として診療・研究に従事してまいりました。現在も同大学整形外科において脊椎外科を担当しております。また市立野洲病院においても専門外来として脊椎外科を担当しております。脊椎疾患全般に対応可能で、手術加療を要する患者さんにつきましては積極的に対応させていただきますので、対象症例がございましたらご紹介いただくと幸いです。

このような疾患に対応しています。

- 椎間板ヘルニア
 - 脊柱側弯症
 - 神経根症
 - 脊柱管狭窄症
 - 頸髄症
 - ◎黄色靭帯骨化症
 - 脊椎すべり症
 - 胸髄症
 - ◎後縦靭帯骨化症
- などなど

※必要に応じて、滋賀医科大学にご紹介させていただきます。

脊椎の手術ならお任せください！

通常の手術(『除圧術』『固定術』)のほか
内視鏡や低侵襲に合わせた手術にも対応

令和8年1月開始
脊椎内視鏡手術



- ☑低侵襲で体に優しい治療
- ☑早期回復による入院期間の短縮

[免許・資格]

日本整形外科学会 専門医
日本整形外科学会 脊椎脊髄病医
日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医
日本脊椎脊髄病学会指導医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本脊椎脊髄外科専門医
日本リハビリテーション医学会 指導医
日本脊椎脊髄病学会モニタリング認定医

[脊椎外科を学ぶ会 世話役]

[学会・研究会などでの役割]

日本整形外科学会 代議員
日本整形外科学会 脊柱靭帯骨化症
診療ガイドライン策定委員
日本脊椎脊髄病学会 評議員
日本インストゥルメンテーション学会 評議員
日本最少侵襲脊椎治療学会(MIST学会) 評議員
中部日本整形外科災害外科学会 評議員
日本脊椎関節炎学会 評議員
AOSpine Japan Delegates
日本リハビリテーション医学会 近畿地方会 幹事

近江脊柱靭帯骨化症友の会(患者会)顧問

完全予約制

股関節専門外来を開設しています。

※毎週水曜日
(9時～10時30分)

[担当医]



特任教授 三村 朋大

平成12（2000）年に滋賀医科大学を卒業し、2008年より股関節外科を専門として診療・研究に従事してまいりました。現在も同大学整形外科において股関節外科を担当しております。小児症例を除く股関節疾患全般に対応可能ですので、もしご紹介いただける症例がございましたら、市立野洲病院にもご紹介いただけますと幸いです。とりわけ手術加療を要する患者さんにつきましては積極的に対応させていただきたく存じます。

- ◆ 滋賀医科大学 平成12年卒 滋賀医科大学 脊椎・関節機能再建学講座 特任教授
- ◆ 専門分野 股関節
- ◆ 学会での役職 日本股関節学会学術評議員、中部日本整形外科災害外科学会評議員
- ◆ 所属学会 日本整形外科学会、日本股関節学会、日本人工関節学会、中部日本整形外科災害外科学会、日本関節病学会、日本骨粗鬆症学会、日本股関節鏡研究会、他
- ◆ 専門医・認定医 日本整形外科学会専門医、認定運動器リハビリテーション医、認定リウマチ医、日本人工関節学会認定医、日本関節学会股関節鏡技術認定医、日本関節病学会専門医
- ◆ その他 京滋股関節セミナー世話人、セメントステム研究会世話人、他
- ◆ 略歴

2024年4月1日 滋賀医科大学 骨軟骨代謝・関節機能再建学講座 特任教授
2023年4月1日 滋賀医科大学整形外科学講座 講師
2020年10月16日 滋賀医科大学整形外科学講座 学内講師
2010年12月1日 滋賀医科大学整形外科学講座 助教
2009年3月25日 滋賀医科大学大学院医学研究科博士課程卒業(学位取得)
2008年4月1日 滋賀医科大学整形外科学講座 医員
2005年6月1日 京阪奈病院整形外科
2005年4月1日 滋賀医科大学大学院医学研究科博士課程入学
2003年6月16日 日野記念病院整形外科
2001年7月1日 蘇生会総合病院整形外科
2000年5月16日 滋賀医科大学整形外科学講座入局
2000年3月31日 滋賀医科大学医学部医学科卒業

リハビリテーション科のご案内



病院長特別補佐：森 幹士



副部長：入山 圭司

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

脳卒中・急性期後のリハビリテーション、
整形外科術後のリハビリテーション、義肢・装具など

・治療の特徴

当院リハビリテーション科においては、主に脳卒中・急性期後や整形外科術後のリハビリテーションといった、急性期と在宅の維持期を繋ぐ架け橋として、回復期リハビリテーション病棟を中心に入院リハビリテーションを集中的に提供しております。また、外来リハビリテーションにおいても、脳卒中・急性期後や整形外科術後で、介護保険が利用できず通所および訪問リハビリテーションが施行できない患者さんに外来でリハビリテーションを試行しております。開業医の先生方におかれましては、外来での医療でのリハビリテーションが必要であると判断された場合には、ご相談いただけますと幸いです。義肢・装具も対応できますので、相談がありましたら、木曜日のリハビリテーション外来にご紹介いただけますと幸いです。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	入山	中馬	入山	入山	入山

◆回復期リハビリテーション病棟 担当医



病棟医長

(リハビリテーション科・整形外科 副部長)



病棟副医長

(脳神経内科 部長)

泌尿器科のご案内



副院長：寺地 敏郎

◎当科へのご紹介のお願い

・対象疾患

- [腎尿管疾患]：腎尿管結石、腎盂腎炎、腎がん、腎盂尿管がん、血尿
- [膀胱疾患]：膀胱炎、血尿、頻尿、夜間頻尿、尿失禁、過活動膀胱、膀胱がん
- [前立腺疾患]：前立腺肥大症、前立腺がん、前立腺炎
- [陰嚢内疾患]：精巣炎、精巣上体炎、陰嚢水腫、精巣捻転（精巣回転症）、精巣腫瘍
- [陰茎疾患]：亀頭包皮炎、完全包茎、嵌頓包茎、陰茎がん
- [その他]：男性更年期障害

・治療の特徴

血尿や膿尿などの尿所見の異常の精査はお任せ下さい。

夜間頻尿や尿失禁、過活動膀胱などの排尿障害に対しては薬物療法のみならず、生活指導を含めて精査加療いたします。

前立腺肥大症に対しては薬物療法は勿論、経尿道的水蒸気治療（WAVE治療：Water Vapor Energy Therapy）という低襲撃手術を早期から取り入れ、抗凝固剤使用中の患者さんや他の合併症のある患者さんにも対応しています。合併症のある患者さんで、尿閉あるいは残尿の多い方がいらっしゃいましたら、是非一度ご相談下さい。

尿路結石に対しては体外衝撃波による結石破砕（ESWL）、軟性尿管鏡による経尿道的結石破砕術（f-TUL）、経皮的腎結石破砕術（PNL）が施行可能です。結石の部位とサイズによって術式を検討いたします。

尿路性器がんの治療に関しては当院で可能な範囲のみ担当し、ロボット支援手術が必要な患者さん等は滋賀医科大学泌尿器科を中心に高度急性期病院に紹介しています。

湖南地域における当院泌尿器科の特徴として、男性更年期障害の治療が挙げられます。

男性更年期障害の症状は、性機能障害のみならず、全身倦怠感、筋力低下、集中力低下、不眠、イライラなど多岐に渡ります。職場の人間関係や配置転換などによるストレスからくる抑うつ状態も、抗精神薬による治療に抵抗する場合はテストステロンの低下が考えられます。インスリン抵抗性の糖尿病の患者さんも、テストステロンの補充で改善することがあります。月曜日外来担当の寺地はテストステロン（代表的な男性ホルモン）治療認定医を取得しており、男性更年期障害に対するテストステロン補充療法を行うことができます。

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	寺地	西田	出口	沖中	出口

外科のご案内



部長: 丹後 泰久

◎当科へのご紹介のお願い

令和8年4月1日より外科の常勤医として着任いたしました丹後と申します。消化器・一般外科を専門としております。どうぞよろしくお願いいたします。

湖南医療圏には近隣に高度医療を担う大病院も多く、この地域における当院外科の役割はそれらとは異なるものとは思いますが、当院の特色を活かし、皆様にとって身近で親しみやすい外科を目指してまいりたいと思います。

以下のような疾患やその疑いの患者様についてご紹介いただけますと幸いに存じます。またこれ以外の疾患についてもできる限り対応させていただきますので、お気軽にご紹介下さいますようお願い申し上げます。

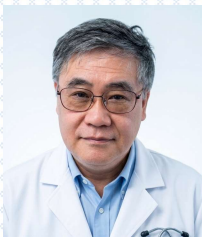
(対象疾患)

外傷、肛門疾患、鼠径部ヘルニア、虫垂炎、胆嚢疾患、中心静脈ポート造設や抜去、褥瘡治療 など

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	丹後	—	丹後	北野	成田
午後 (予約制)	—	—	—	乳腺 (13:30~ 16:45) 東出	—

麻酔科のご案内



部長: 早藤 昌樹

令和7年10月より麻酔科医として着任いたしました早藤と申します。

麻酔科では、院内で実施する手術(整形外科症例、泌尿器科症例、外科症例など)の麻酔管理を適正かつ安全に行っております。予約手術の患者や緊急手術が必要な患者など外来対応やベッドサイド対応など柔軟な診察を行っております。

ペインクリニックは行っておりませんのでご注意ください。

小児科のご案内

◎当科へのご紹介のお願い

平日は毎日（午前）、滋賀医科大学の小児科専門医や小児神経、小児循環器、小児消化器、発達を専門とする医師による、診察をしております。現在、外来診察枠に比較的余裕があり、待ち時間も少なく対応できます。入院等が必要と診断した場合は、速やかに連携医療機関へ紹介します。

◎予防接種（受付：10時30分～11時30分（第1.3.5金曜日は8時30分～10時30分））

各種予防接種*については、概ね1週間前のご予約が必要となります。小児インフルエンザワクチン接種もご相談ください。痛くない1回限りの噴霧式（フルミスト）も実施しています。

* Hib感染症、小児肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス感染症、5種混合、4種混合、2種混合、BCG、MR混合、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス

◎外来担当

	月	火	水	木	金
午前	清水	谷岡	高島	赤井	古川 （第1.3.5週） 阪上 （第2.4週）
専門外来	—	—	—	—	小児心臓 （11:00～ 12:00） 古川 （第1.3.5週）

その他診療科のご案内 ※非常勤医師による外来診察対応のみ

◎外来担当

脳神経		月	火	水	木	金
	外科 (午前)	二宮	—	岡	—	新田
	内科 (午前)	—	布留川	週別 担当医	布留川	—

呼吸器内科		月	火	水	木	金
	午前	—	中西	川口	—	—
	午後	—	—	—	—	角田

産婦人科		月	火	水	木	金
	午前	田中	田中	賀勢 (1.3.5週) 山中 (2.4週)	田中	田中

眼科		月	火	水	木	金
	午前	三上	袖川	西	金井	西田

皮膚科		月	火	水	木	金
	午前	—	小池	—	山口 (1.3.5週) 小林 (2.4週)	—

地域医療連携のさらなる深化を目指して

－紹介率・逆紹介率の推移－

連携医療機関ならびに地域のクリニックの先生方におかれましては、平素より当院の運営に多大なるご支援ご協力をたまり厚くお礼申し上げます。

当院では、地域における役割分担を明確にし、患者さんが適切な場所で最適な医療を受けられることを念頭に日々連携推進に取り組んでおります。

この度、令和元年度から令和7年度までの紹介率・逆紹介率の推移をまとめましたので、報告させていただきます。

◆紹介率と逆紹介率の推移と分析

下記のグラフが示す通り、令和4年度までは両指標ともに40%～50%前後で推移しておりましたが、令和5年度を境に大きな躍進を遂げております。

- ・紹介率：令和4年度の43.1%から、令和7年度には72.8%へと大幅に上昇いたしました。
- ・逆紹介率：令和5年度に70%を超え、令和6年度には82.1%に達するなど、極めて高い水準を維持しております。

これは、先生方が当院の専門性や診療機能を信頼し、多くの患者さんを紹介下さっていること、そして、当院での治療を終えた患者さんを再び地域の「かかりつけ医」として温かく受け入れていただいていることの証であり、深く感謝申し上げます。

◆地域のクリニックの先生方へのお願い

当院は、急性期をはじめ維持期・慢性期、回復期や一般外来ならびに専門外来などを担い、病状が安定した際には可能な限り地域の先生方へバトンを繋ぐ役割にあります。逆紹介が80%を超えている現状は、連携サイクルが円滑に機能し始めている兆しであると確信しております。

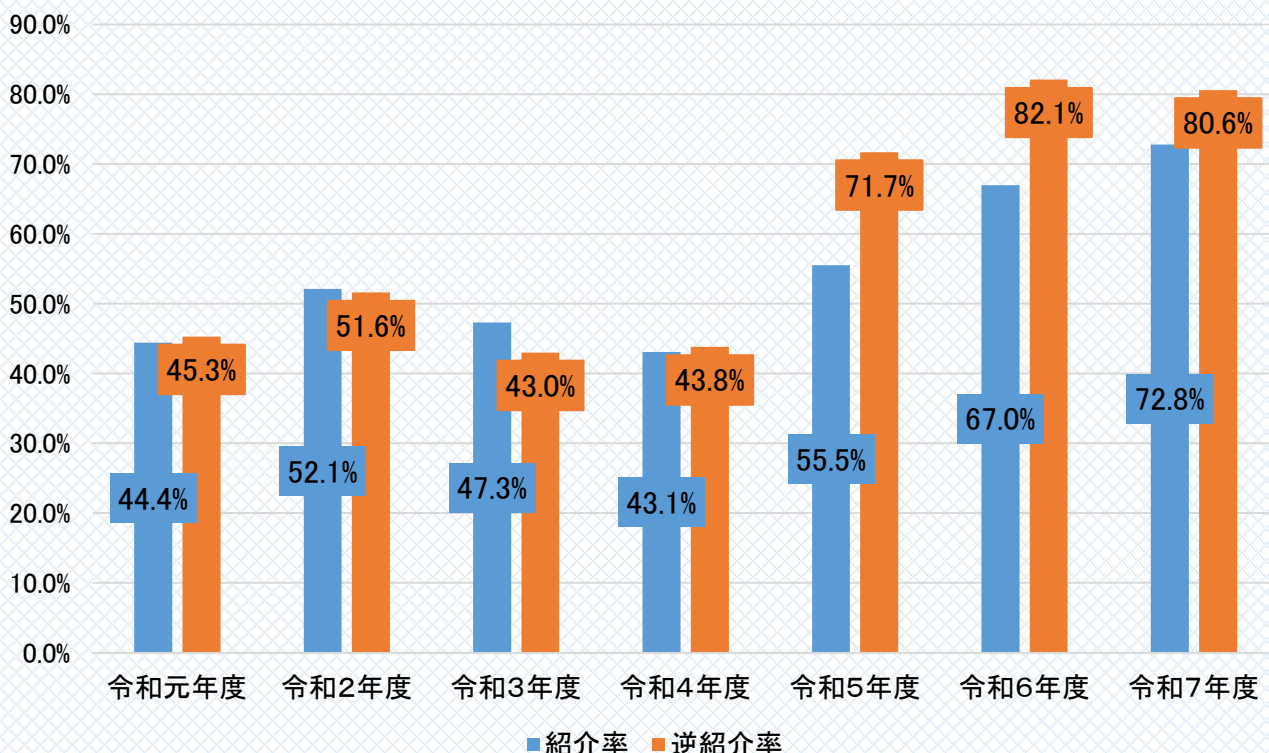
今後も、以下の点に重点を置き、連携を強化してまいります。

- 1.迅速な診療報告：ご紹介いただいた患者さんの経過報告をより迅速かつ丁寧に行います。
- 2.患者さんが安心して地域での療養に移行できるよう、カンファレンスなどで十分な説明を行うとともに患者ニーズに応じた調整を行います。

地域医療の質を維持・向上させるためには、先生方との強固なパートナーシップが不可欠です。当院へのご要望やご意見がございましたら、些細なことでも『患者サポートセンター(077-587-4432)』までお寄せいただけますと幸いです。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

紹介率・逆紹介率_年度別



当院への各種ご予約お問い合わせは、
「患者サポートセンター」がすべて承ります。

お問合せ先

◆◆ 患者サポートセンター 専用ダイヤル ◆◆

TEL:077-587-4432

◆◆ 診察・入院紹介、検査オーダー専用FAX ◆◆

FAX:077-587-4437

※ 土日・休日及び夜間の救急は……
077-587-1332(病院事務当直)

発行日：令和8(2026)年6月1日
発行元：市立野洲病院 患者サポートセンター